

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/1～2018/11/1)

### 1. 勉学の状況

11月に入り、カセサート大学でのプログラムも残り1ヶ月を切りました。期末テストが少しずつ始まり、8月から受けてきた授業の終わりを喜ぶとともに、この留學生活の終わりを実感し、非常に悲しさがこみ上げてきます。1セメスターは長いようですが、今になるとかなり短かったように感じます。

私は、現在4つの授業を取っていますが、期末では、テスト4つ、オーラル試験1つ(タイ語)、プレゼンテーション1つ、レポート4つを抱えています。1つの授業の中にも複数の先生がおり、先生によって期末として出すタスクが様々なので、少し大変です。特に Physiology of Horticulture という授業では、毎週5枚のレポートがずっとありましたが、期末ではそれが10枚以上になり、かなり時間がかかりました。しかし英語で論文を選び、読み、まとめる力がかなりついたと思うので、頑張った甲斐があったかなと思います。

Paradigm of Agricultural Extention という授業では、農家の方にインタビューをしてプレゼンテーションを作るというグループワークがありました。私たちのグループでは、タイで日本の品種を育てるメロン農家の方にお話を聞きに伺いました。私は、日本の品種を育てるきっかけやスマート農業についての質問をしましたが、農家の方がタイ語しか話せず、まだタイ人の友人が翻訳の途中なので、質問の答えとして何とおっしゃったのかまだわかっていません。しかしタイの農家を訪れることは初めてで、グリーンハウスとココナッツの皮による水耕農業を行なっている様子を見るだけで私にとって、新鮮でした。タイの農業は、私の想像よりも発展しており、日本の農業も学ぶ部分が多いのかなと思いました。質問の答えを聞くのがとても楽しみです。

また今月は AIMS(ASEAN International Mobility for Student Program) Trip がありました。AIMS とは「SEAMEO 加盟国を枠組みとする、ASEAN 統合に向けた政府主導の学部生向け学生交流プログラム」で、このプログラムを通してタイや日本をはじめとする国の学生が派遣留学をしています。カセサート大学に交換留学に来ている日本人とインドネシア人のほとんどは AIMS Students と呼ばれています。私は、学部間留学ではなく、MOU という別のプログラムで来ていますが、AIMS Trip に特別に参加させていただきました。AIMS Trip では農学部、水産学部、森林学部、経済学部、獣医学部、農産学部(アグロインダストリー)の6学部の研究フィールドを回ったり、その学部の紹介を聞いたりしました。全部で6日間あり、最



後の3日間は泊まりで農学部と森林学部の研究フィールドに行ってきました。カセサート大学はタイ国内に多数の研究施設を持っていて、そこでどのような研究をしているのか聞くのは非常に面白かったです。他の留学生とも仲良くなれる大きなきっかけになったので感謝しています。

## 2. 生活の状況

今月は、私のボランティアしている団体の移動図書館に参加させていただきました。マハチャイというバンコクから車で1時間半ほどの場所にある小学校2箇所に訪問しました。劇をやったり、紙芝居をやったりし、その後子どもたちが本を読むのに好きなだけ時間をとります。子ども達みんな本を読むのが好きで、本を読む時間になると一斉に移動図書館に駆け込んで、本を選びます。



1冊をものすごい速さで読み終わると、また走って次の本を選ぶ様子はとっても可愛らしくて、この活動の意味があることを非常に感じました。子ども達が私のところに寄って来て、「これ読んで!」と言ってくれるのはとても嬉しかったのですが、一方でタイ語を読むことができないので、少し悔しい思いをしました。いつか、タイ語をもっと習得して子ども達とうまくコミュニケーションを取れば

いいなと思い、タイ語を勉強する意欲がより湧きました。また、このような活動に参加させていただければ嬉しいです。

また、今月は友人の紹介で Community Development を目的とした、森林学部と社会科学部が共同で行うプロジェクトに参加させていただきました。Koh Klang というコミュニティを外国人を含め多くに人にもっと知ってもらい、その向上につなげることを目的としたイベントで、今回が1回目の開催らしいです。私はそのイベントで、Tie Dye(絞り染め)やビニール袋から花束を作ったりしました。その地域に住んでる方が実際にやり方を教えてくださり、お昼ご飯まで振舞っていただき、とっても充実した1日を過ごすことができました。





そして、11月末にはチェンマイに旅行に行きました。コムロイ祭りというランタンを空に飛ばして神様に感謝するお祭りに参加することが目的で、3日間という短い間でしたが十分に楽しめました。チェンマイは同じタイでも違う国に来たように雰囲気はバンコクと異なり、空気が綺麗で町並みもとても気に入りました。しかし、バンコクではタクシーが安くて移動によく利用しますが、チェンマイにはタクシーがなく、ソンテウという赤い車を捕まえてドライバーさんと値段を交渉したりしないといけなかったのが少し大変でした。

また、ロイクラトン祭りというのも同じ時期にタイ国内で行われていてチェンマイに行く前に大学内で行われていたお祭りに参加しました。クラトンというバナナの葉っぱや花でできた小さなもので、川などに流して水の神様に感謝し、自らの穢れを流す意味があるそうです。大学内に多くの屋台が並び、ステージも設営され、大学祭のような雰囲気で、楽しかったです。

